



Title	2023年度活動記録
Author(s)	
Citation	大阪大学歴史教育研究会 成果報告書シリーズ. 2024, 21, p. 56-59
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/98881
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

2023 年度活動記録

■大阪大学歴史教育研究会・2023 年度例会

＊所属・職名は報告当時のものである。

＊例会は全て対面とオンライン（ZOOM 使用）を併用するハイブリッド形式で行った。

＊各回の主たる講演の要旨は、研究会ホームページ (<https://sites.google.com/site/ourekikyo/>) の「活動記録（2023 年度）」に掲載している。

第 150 回例会（2023 年 4 月 22 日、大阪大学人文学研究科本館 2 階大会議室）

特集『『岩波講座世界歴史』最新版から考える歴史学と歴史教育の架橋』第 1 回

大黒俊二（大阪市立大学名誉教授）

『『岩波講座世界歴史』・個別研究・歴史教育』

コメント：小澤実（立教大学文学部教授）

「中世のヨーロッパ半島をグローバルに捉えること」

田中忍（兵庫県立芦屋高等学校教諭）

「歴史総合・世界史探究と『岩波講座世界歴史 09』—反省と世界史探究の構想—」

第 151 回例会（2023 年 5 月 20 日、大阪大学人文学研究科本館 2 階大会議室）

特集『『岩波講座世界歴史』最新版から考える歴史学と歴史教育の架橋』第 2 回

荒川正晴（大阪大学名誉教授）

「前近代中華世界とユーラシア東部、東アジア、グローバル化—『岩波講座世界歴史』第 5～7、10 巻相互の繋がりを中心に—」

コメント：山根直生（福岡大学人文学部教授）

『『岩波講座世界歴史』第三期と唐宋時代史研究』

矢部正明（関西大学中等部・高等部教諭）

『『岩波講座世界歴史 06』に寄せて—高等学校の新科目「世界史探究」にどのように反映できるか？—」

第 152 回例会（2023 年 6 月 17 日、大阪大学人文学研究科本館 2 階大会議室）

特集『『岩波講座世界歴史』最新版から考える歴史学と歴史教育の架橋』第 3 回

林佳世子（東京外国語大学学長）

「西アジア・南アジアの近世—『岩波講座世界歴史』第 13 巻を中心に—」

コメント：秋山晋吾（一橋大学大学院社会学研究科教授）

「近世の西アジアの西部辺境としてのハンガリー・バルカン」

田村健（大阪府立桜塚高等学校教諭）

「林佳世子「西アジア・南アジアの近世—『岩波講座世界歴史』第 13 巻を中心に—」

を受けて高校教員よりのコメント」

第 153 回例会（2023 年 7 月 22 日、大阪大学人文学研究科本館 2 階大会議室）

特集『『岩波講座世界歴史』最新版から考える歴史学と歴史教育の架橋』第 4 回

小川幸司（長野県伊那弥生ヶ丘高等学校教諭）

「歴史実践としての世界史を考える」

三谷博（東京大学名誉教授・東洋文庫研究員）

「世界史の中に日本はあるか」

第 154 回例会（2023 年 10 月 28 日、大阪大学人文学研究科本館 1 階中庭会議室）

特集『『岩波講座世界歴史』最新版から考える歴史学と歴史教育の架橋』第 5 回

安村直己（青山学院大学文学部教授）

「南北アメリカから見た世界史」

コメント：高橋均（東京大学名誉教授）

「『岩波講座世界歴史』におけるラテンアメリカ地域の扱いの回顧と研究の発展」

徳原拓哉（神奈川県立横浜国際高等学校教諭）

「『高校世界史』と『認識としての世界史』：指導要領と世界史探究の教科書から」

特別例会（2023 年 11 月 19 日、大阪大学豊中キャンパス南部陽一郎ホール）

「日本と世界が出会うまち・堺 2023」研究発表会

第 155 回例会（2023 年 12 月 16 日、大阪大学豊中キャンパス全学教育推進機構

管理・講義 A 棟 1 階共 A102 教室）

特集『『岩波講座世界歴史』最新版から考える歴史学と歴史教育の架橋』第 6 回

勝山元照（親和女子高等学校校長補佐）

「『歴史総合』の原点確認と実践的課題について」

井垣俊樹（日本史 M1）・岩田達也（西洋史 M1）・原田英範（東洋史 M1）・三上慧ロス
（西洋史 M1）

『『岩波講座世界歴史』を用いた「世界史探究」教科書記述の再検討」

第 156 回例会（2024 年 1 月 20 日、大阪大学人文学研究科本館 2 階大会議室）

特集『『岩波講座世界歴史』最新版から考える歴史学と歴史教育の架橋』第 7 回

峯陽一（同志社大学グローバル・スタディーズ研究科教授）

「自律と連帯の夢—20 世紀の冷戦秩序を「南」から照射する」

コメント：竹村景子（大阪大学人文学研究科教授）

「アフリカ大陸について日本で教え学ぶ意味とは」

林裕文（福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校教諭）

「現代史学習を充実した学習にするには？～21 世紀に生まれた高校生と 22 世紀を見据えた学びをするために～」

第 157 回例会（2024 年 3 月 16 日、大阪大学人文学研究科本館 2 階大会議室）

特集『『岩波講座世界歴史』最新版から考える歴史学と歴史教育の架橋』第 8 回

木畑洋一（東京大学・成城大学名誉教授）

「歴史のなかの現代世界：『岩波講座世界歴史』22～24 巻の編集作業から」

コメント：成田龍一（日本女子大学名誉教授）

「世界史のなかの「日本」/日本の「日本」」

大橋康一（立命館守山高等学校教諭）

「冷戦後をどう教えるのか」

■教員組織・学会・自治体と連携した活動

「日本と世界が出会うまち・堺 2023」プロジェクト

堺市博物館と大阪大学歴史教育研究会の共催事業として、堺の国際交流の歴史などにスポットをあてた「日本と世界が出会うまち・堺 2023」プロジェクトについて、今年度も昨年に引き続き、特別例会という形で開催した。今年度は大阪大学豊中キャンパス南部陽一郎ホールを会場とする対面開催が実現した。

大阪大学歴史教育研究会 2023 年度世話役・事務局

■代表（共同代表）

秋田 茂 （大阪大学大学院人文学研究科教授）
飯塚 一幸 （大阪大学大学院人文学研究科教授）
堤 一昭 （大阪大学大学院人文学研究科教授）

■高校・中学教員側世話役

大西 信行 （中央大学文学部特任教授）
置村 公男 （六甲中学校・高等学校教諭）
川島 啓一 （同志社高等学校教諭）
澤野 理 （神奈川県立逗子高等学校教諭）
西村 嘉高 （青山学院高等部教頭）
藤田 弘晃 （奈良県立奈良高等学校教諭）
矢景 裕子 （神戸大学附属中等教育学校教諭）
八木 啓俊 （大阪府立淀川清流高校教諭）
矢部 正明 （関西大学中等部・高等部教諭）
吉嶺 茂樹 （北海道高等学校遠隔授業配信センター教諭）

■研究会事務局

猪原 達生 （大阪大学大学院人文学研究科特任研究員／東洋史学）
野口 駿之介 （大阪大学大学院人文学研究科博士後期課程／西洋史学）
北山 航 （大阪大学大学院人文学研究科博士後期課程／日本史学）